



## 生産技術科 野菜コースが農業生産に関する講演会を開催しました。

**目的** SPH事業の指定を受け、大学・研究機関・企業等と連携し、社会の変化や産業の動向等に対応した高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成することを目的とし、野菜コース1・2年生を対象に農業生産法人の設立方法や職務、インターネット販売・農産物直売所での販売など販売方法について講習会を行う。

**日時** 平成31年1月21日(月) 13:35 ~ 15:25

**場所** 本校視聴覚教室

**講師** カガヤキ農園 代表取締役 立川 幸一 様  
〒950-0205 新潟県新潟市江南区沢海 1-5-8

**実施生徒** 生産技術科2年野菜コース 20名  
農業科1年生野菜コース決定者 22名

**実施内容** ○農業生産法人設立の経緯  
○カガヤキ農園 会社概要  
○DVD視聴 カガヤキ農園TV出演

**成果** ○インターネット販売や直売所の運営、収穫当日販売など、野菜コースでも導入できる取組について知ることができた。  
○カガヤキ農園が募集している、農業アルバイトやカガヤキ農園への就職の話に興味を持つ生徒が見られた。

**生徒の感想** ○私が考えていた農業とは違い、新しい技術を取り入れ、環境に応じて経営方法を変えていくことが重要だと感じた。  
○PDCAサイクル、マネジメントサイクルを知っておいた方がよいと感じた。  
○色々なことに挑戦してみることが、大切だと感じた。

**今後の課題** ○農業関連産業への就職・進学率向上のために、校外研修や講習会・講演会を企画し、農業生産法人・農家の方々の生の声を聞き、農業の魅力を伝えていかなければならない。学校では、今後も栽培の基礎・基本を授業で理解させておくことが重要な課題である。

**講師からの助言** ○産直・直売所は売れる「自分たちで売る」という意識が大切。  
○PDCAサイクルで物事を進めていくと上手くいくことが多い。  
○生産費の把握をしっかりと行うこと。(キャベツ1個生産するのにいくらかかるか)



講演の様子



1 タブレットを使用した講演が行われた。(カガヤキ農園では、生産や販売の管理にタブレットを使用)

2~3 カガヤキ農園ウェブページより引用しました。